

Title	フランス・リアリズム文学の総合的研究：社会、歴史、想像力
Sub Title	Study on French realism : society, history, imagination
Author	小倉, 孝誠(Ogura, Kōsei)
Publisher	福澤基金運営委員会
Publication year	2021
Jtitle	福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金事業報告集 (2020.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>19世紀から20世紀初頭にかけてのフランスで、リアリズム小説は社会の現実と歴史の諸相をさまざまな技法とテーマによって描き出した。本研究では、個別の作家や作品を出発点にしながら、そこに通底する特徴を明らかにしようとした。具体的には次のような点である。</p> <p>1) 19世紀のリアリズム小説は、それ以前の文学にほとんど登場しなかった新たな人物像を創り出した。たとえば地方から野心に燃えて首都パリにやって来る青年や、社会に認められずに葛藤する芸術家である。前者はさまざまな媒介者を通じて社会と世界の構造を学ぶことで、ひとりの人間として成長していく。そこから「教養小説」の図式が生まれる。他方芸術家は、みずからの理想と社会の現実との対立に直面し、ときには挫折する。その葛藤を通じて作家は社会の裏面をあばき出そうとする。</p> <p>両者に共通するのは、フランス・リアリズム小説において首都パリと地方の対立が、物語のダイナミズムに貢献していることである。この点は、『世界文学へのいざない』に収めたバルザックとゾラに関する論考で展開した。</p> <p>2) 同時代の習俗と感性を浮き彫りにするのも、リアリズム文学の特徴である。バルザックが『人間喜劇』の「総序」において主張したように、作家は習俗の歴史家であろうとした。しばしば同時代の事件から題材を採り、それを作中人物の私生活に落とし込むことで、読者との間に親密な感情空間を構築することが分かった。この点は『感情の歴史II』(翻訳)の「訳者あとがき」で発展させた。</p> <p>3) リアリズム小説は、同時代の多様な知の言説と共振することが確認できた。たとえば、ミシュレなど歴史家の著作がもたらす歴史学の知、身体と病理に関する医学や生理学の言説である。それら異なる領域の知が、リアリズム文学に社会的位相の広がりを与えていることが分かった。cf. 「文学に現れる感染症」、「歴史と文学」。</p> <p>From the 19th century until the beginning of the 20th century, the French realist novel represents social realities and various aspects of history, using new techniques and original themes. I have tried to show the characteristics of realism that contribute to the intelligibility of modern society.</p> <p>1) Realistic writers stage new characters such as the ambitious young man who has moved to Paris or the artist faced with a prosaic world. The heroes' tragic conflict with the world is one of the main themes of realist literature.</p> <p>2) The realistic novel is intended to be an expression of contemporary mores as well as of private life, as Balzac well illustrates.</p> <p>3) Realism resonates with scientific discourses such as medicine and physiology to broaden the cultural scope of literature.</p>
Notes	申請種類：福澤基金研究補助
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12003001-00002020-0014

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	補助額	500	千円
	氏名	小倉 孝誠	氏名 (英語)	Kosei Ogura			
研究課題 (日本語)							
フランス・リアリズム文学の総合的研究——社会、歴史、想像力							
研究課題 (英訳)							
Study on French realism: society, history, imagination							
研究組織							
氏 名 Name		所属・学科・職名 Affiliation, department, and position					
小倉孝誠 (Kosei Ogura)		文学部・教授					
1. 研究成果実績の概要							
<p>19世紀から20世紀初頭にかけてのフランスで、リアリズム小説は社会の現実と歴史の諸相をさまざまな技法とテーマによって描き出した。本研究では、個別の作家や作品を出発点にしながら、そこに通底する特徴を明らかにしようとした。具体的には次のような点である。</p> <p>1) 19世紀のリアリズム小説は、それ以前の文学にほとんど登場しなかった新たな人物像を創り出した。たとえば地方から野心に燃えて首都パリにやって来る青年や、社会に認められずに葛藤する芸術家である。前者はさまざまな媒介者を通じて社会と世界の構造を学ぶことで、ひとり人間として成長していく。そこから「教養小説」の図式が生まれる。他方芸術家は、みずからの理想と社会の現実との対立に直面し、ときには挫折する。その葛藤を通じて作家は社会の裏面をあばき出そうとする。</p> <p>両者に共通するのは、フランス・リアリズム小説において首都パリと地方の対立が、物語のダイナミズムに貢献していることである。この点は、『世界文学へのいざない』に収めたバルザックとゾラに関する論考で展開した。</p> <p>2) 同時代の習俗と感性を浮き彫りにするのも、リアリズム文学の特徴である。バルザックが『人間喜劇』の「総序」において主張したように、作家は習俗の歴史家であろうとした。しばしば同時代の事件から題材を採り、それを作中人物の私生活に落とし込むことで、読者との間に親密な感情空間を構築することが分かった。この点は『感情の歴史Ⅱ』(翻訳)の「訳者あとがき」で発展させた。</p> <p>3) リアリズム小説は、同時代の多様な知の言説と共振することが確認できた。たとえば、ミシュレなど歴史家の著作がもたらす歴史学の知、身体と病理に関する医学や生理学の言説である。それら異なる領域の知が、リアリズム文学に社会的位相の広がりを与えていることが分かった。cf.「文学に現れる感染症」、「歴史と文学」。</p>							
2. 研究成果実績の概要 (英訳)							
<p>From the 19th century until the beginning of the 20th century, the French realist novel represents social realities and various aspects of history, using new techniques and original themes. I have tried to show the characteristics of realism that contribute to the intelligibility of modern society.</p> <p>1) Realistic writers stage new characters such as the ambitious young man who has moved to Paris or the artist faced with a prosaic world. The heroes' tragic conflict with the world is one of the main themes of realist literature.</p> <p>2) The realistic novel is intended to be an expression of contemporary mores as well as of private life, as Balzac well illustrates.</p> <p>3) Realism resonates with scientific discourses such as medicine and physiology to broaden the cultural scope of literature.</p>							
3. 本研究課題に関する発表							
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)				
小倉孝誠	世界文学へのいざない	新曜社	2020年6月				
小倉孝誠	文学に現れる感染症	『三田評論』	2020年11月号				
小倉孝誠	感情の歴史Ⅱ(翻訳)	藤原書店	2020年11月				
小倉孝誠	歴史と文学	藝文研究シンポジウム	2020年12月				